

林いさお通信



ブログ：<http://pikaichino.exblog.jp/> Tel 049-259-2228
 討議資料 No. 22 耐震化計画 平成 20 年 6 月 2 5 日号林いさお後援会



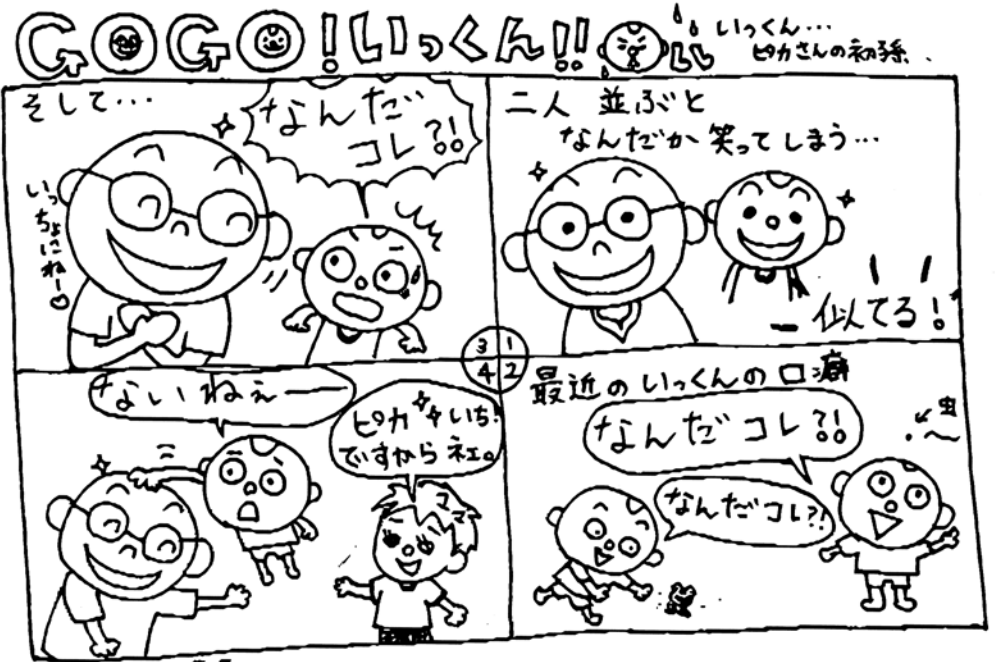
**平成25年度
耐震化率100%へ**

過日、新聞紙上で公立小中学校の耐震性について文部科学省の調査が発表された。それによると、全国にある公

耐震補強の鉄筋の筋交い：ブレース（三芳東中学校）

立小中学校の校舎や体育館などの建物で岩手・宮城内陸地震で記録した震度6強で倒壊の危険のある「耐震性のない」建物は4月1日現在で33.9%であった。埼玉県は、耐震化率56.1%、「耐震性がない」と診断された建物は43%。三芳町は、県内70市町村の中で耐震化率が28%66位で、ワースト5位。県内でも下位に位置しているが、耐震化計画を策定し順次耐震化工事を推進している。先日の「まちづくり懇話会」でも、この件に関しての質問があったのであらためて三芳町で広報等で公表している計画を掲載させていただきます（次頁）。

ここ数年、中国四川省の地震はもとより、住民の安心・安全なまちづくりに対応しての意識が高まってきている。三芳町は、平成11年度から耐震診断を優先し、平成18年度にすべて済ませていた。財政状況等の関係で三芳東中学校校舎を皮切りに平成18年度から設計、工事がスタートした。それまでは、ほとんど議会で耐震に関して是一般質問等がなかったようである。昨年の大空の菊地議員の質問が本格的な質問であり、行政も軌を一にして計画を策定中であった。平成25年度耐震化率100%を達成する予定である。



絵・長女 孫子

★明日をひらく言葉

「**明日をひらく言葉**」
 設^たひ発病して死すべくとも、猶^な只是^{ただ}れを修^しすべし。病^なひ無^なふして修^しせず、此の身をいたわりて用^{もち}ひてなんの用^{もち}ぞ。病^なひして死せば本意^{ほんい}なり。」

『正法眼蔵随聞記』

道元

普通の価値観からすれば、何をさしおいても身体が大切である。死んだら何にもならない。しかし、道元は、発病して死んでもよいから修行せよ、という。病にかかり修行して死んだら、それこそ本意ではないかと。人生は短い。まさに「光陰空しく渡ることなかれ」であり、ただひたすらに行じるように生きたいものです。